

岩谷学園テクノビジネス保育専門学校 ～日本語科～

今年度日本語科ではCovid-19の影響による自宅学習期間・分散登校期間を経て、夏休み明けより学生たちは毎日登校しています。例年通り行事や授業内活動を行うことは難しいですが、学生たちも教職員たちも試行錯誤しながら、勉学の機会を最大限にできるよう日々様々なことに取り組んでいます。以下、昨年度の行事、今年度の学校生活に対する学生たちの声を一部紹介したいと思います。

RESTU ARDIAN PRIYOGO (インドネシア)

今まで私は学校で素晴らしい時間を過ごしました。2019年12月、神奈川県のカラオケ大会という名誉あるイベントに学校の代表として出ました。子供の頃から歌うことが大好きな私にとって、このイベントは私が今まで参加した中で最大のイベントだと思っています。皆の前で歌うことは普通ですが、大きなステージで歌えるというのは大変素晴らしい経験でした。準優勝で私の名前が呼ばれた時は、人生で忘れられない瞬間になりました。

また、今年の12月にJLPTを受けました。結果はまだありませんから、待つしかありません。学校での日々の勉強は楽しく、私の毎日の会話力向上にとっても役立っていると思います。日本人との会話に今もっと自信が持てるようになりました。卒業の日まで充実した日々を過ごし、もっとたくさんの経験ができるようになりたいです。



(カラオケ大会準優勝のプリヨゴさん)

ISLAM MD NAYEMUL (バングラデシュ)



(大学に合格したナイムルさん)

私は日本の大学で勉強することを夢見て日本に留学しました。しかし、今年はコロナウィルスの影響で自宅学習時間が多くなり、6月・7月のJLPT・EJUも中止になり、大学に入学するのが大変難しくなっていました。私自身の夢や目標を見失い悩んでいた時、先生たちが私の進むべき道を示してくれたことで、それまで以上に努力をしました。とてもわかりやすく、やさしく教えてもらい、何度も何度も面接の練習をしてもらいました。そのおかげで行きたい大学に合格することができました。また、漢字検定9級にも合格して、自信ができました。

私の夢を実現するのを手伝ってくださった先生方と学校職員の方々には、とても感謝しております。

KHAREL BIMALA (ネパール)

2020年は私にとってとてもラッキーな年でした。中標津町との交流授業に学校の代表として参加し、北海道へ行くチャンスをもちました。色々なことを体験し、勉強になりました。牧場で育てられた牛のミルクを絞る方法は、ほとんどの仕事は人間の力を借りず、全部機械がやってくれるのを見たとき、びっくりしました。農場で食べた無農薬のトマトはとてもおいしかったです。北海道の会社や地元の人々とも交流して、色々間違いがあっても理解し、留学生の皆に優しくしてくれて、自分の家族と思うぐらいに親切にしてくれました。この美しい瞬間とこの楽しい経験は決して忘れられません。有名人ではありませんが、日本の新聞に載ったのもいい思い出です。



(中標津町にていくら丼を食べているカレルさん)